

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が65例(男性43例(20歳代18例, 30歳代5例, 40歳代6例, 50歳代6例, 60歳代3例, 70歳代2例, 80歳代2例, 年齢非公開1例), 女性22例(10歳代6例, 20歳代5例, 30歳代1例, 40歳代3例, 50歳代4例, 60歳代1例, 年齢非公開2例))あり, 本年の累積報告数は8,071例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が2例(10歳未満女性及び10歳未満男性)(第24週追加報告分含む)ありました。症状は水様性下痢, 血便などです。本年の累積報告数は7例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(80歳代女性)あり, 本年の累積報告数は14例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(30歳代男性)(第24週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は30例となりました。
- ・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は3.40で, 前週の3.26からやや増加し, 非常に多い状態です。全国でも今週3.87(前週3.05)で増加傾向が続いており, これまで同様強い警戒が必要です。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第25週, 京都市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者が65例報告され, 本年の累計陽性者数は8,071例になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 114例(肺結核 39例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 40例)うち喀痰塗抹陽性 16例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 65例**【1月以降の累積報告数8,071例】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 30例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

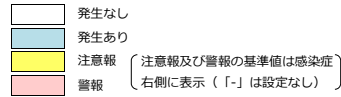
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① RSウイルス感染症	3.40	146
	② 感染性胃腸炎	3.26	140
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.98	42
	④ 突発性発しん	0.37	16
	⑤ 咽頭結膜熱	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

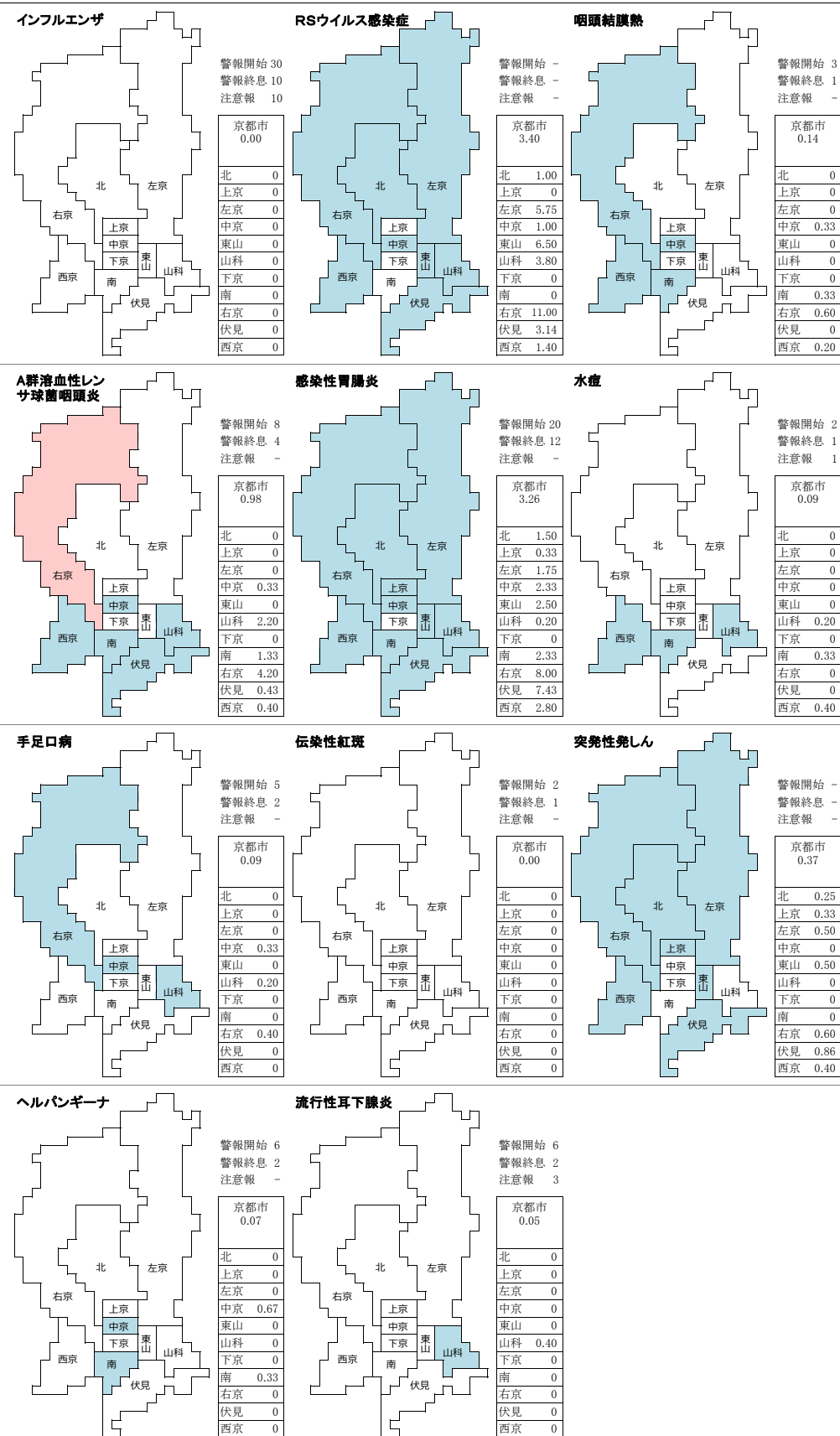
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年6月30日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

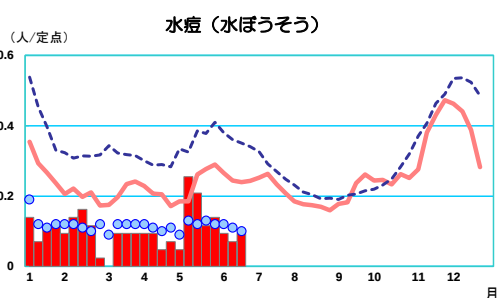
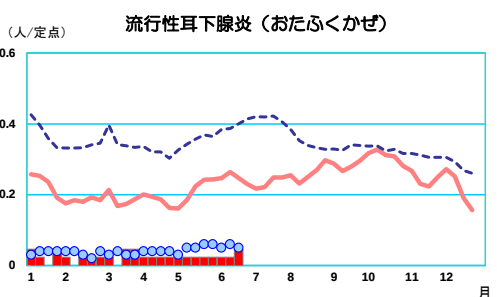
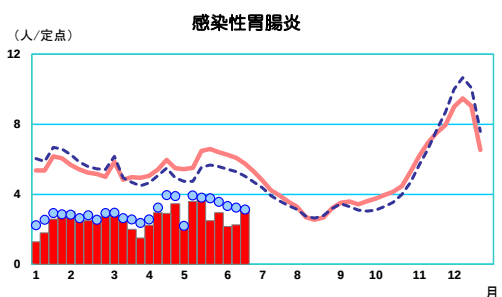
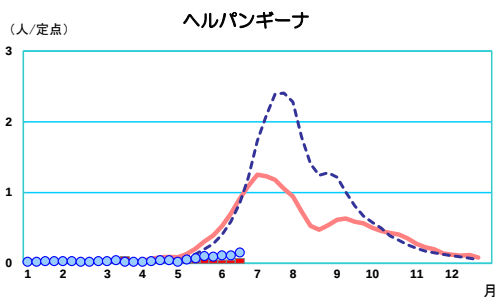
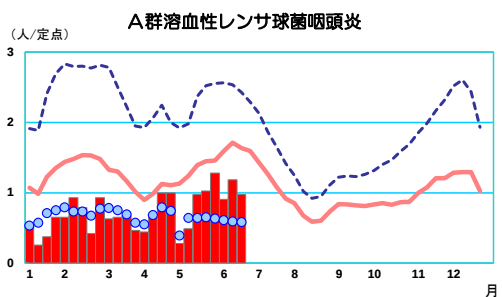
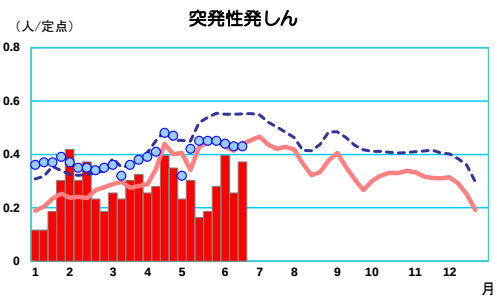
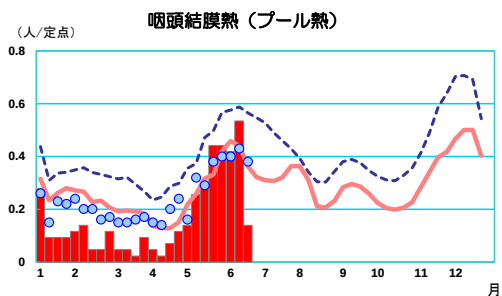
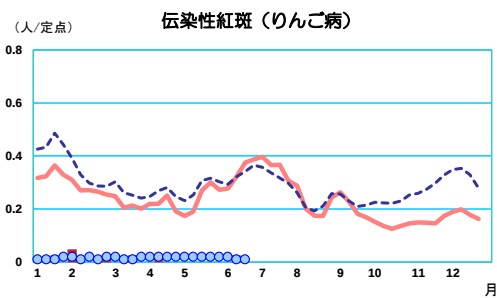
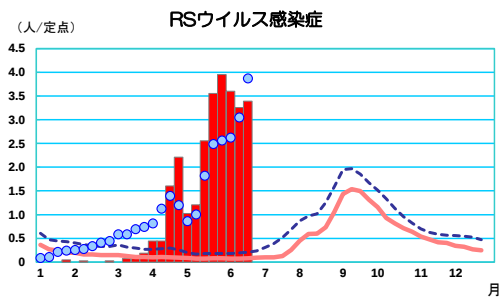
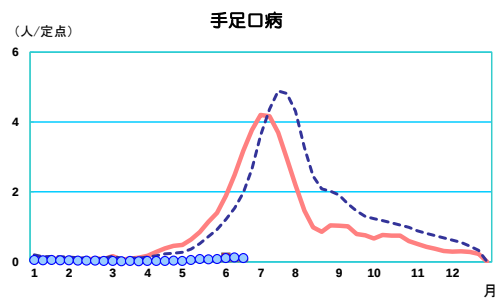
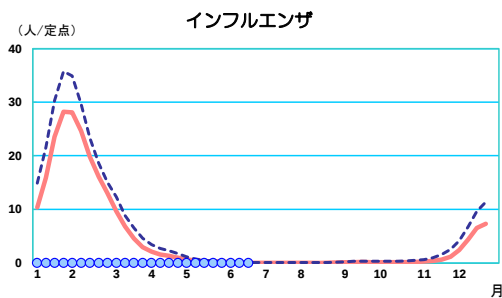
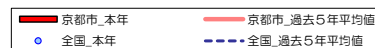
インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第25週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



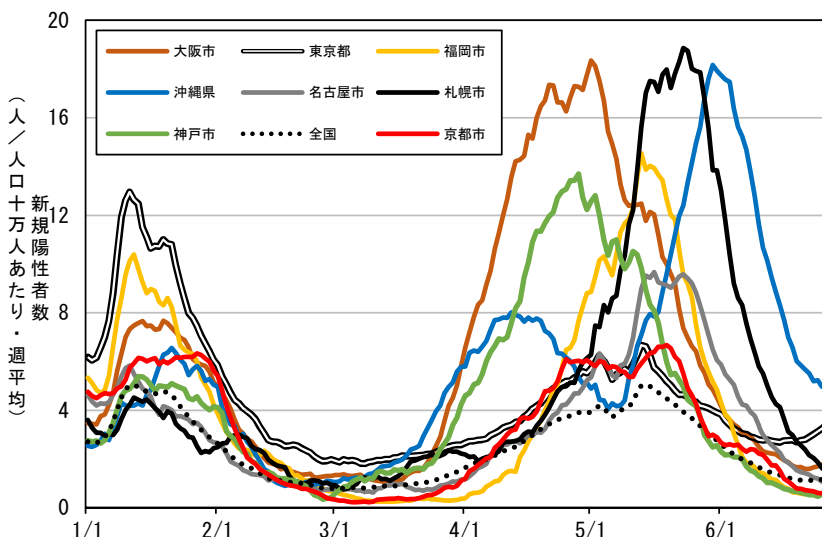
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



第25週(6月21日～6月27日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第25週、京都市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下、陽性者)が65例報告され、本年の累計陽性者数は8,071例になりました。

国内で特に大きなCOVID-19の流行があった各都市(五大都市及び神戸市、沖縄県)と本市の人口10万人あたりの新規感染者数の推移をみると、今年4月から6月にかけて大きな流行が各都市で発生しました。1月に見られた流行と比べると、各都市間で発生時期にずれが見られ、また東京都を除いて規模が大きくなっています(図1)。次に流行があった際には、全国状況にかかわらず、局地的な陽性者数の増加や、より大規模な流行となる可能性も予想されることから、今後の動向に注意が必要です。

図1. 国内のCOVID-19新規陽性者数の推移[§]

京都市では4月12日に高齢者を対象にCOVID-19のワクチン接種を開始してから、6月27日までに約37万回の接種を行い、65歳以上の方の29.7%が一回目、29.5%が二回目の接種を完了しています(*1)。全国では同日までに約1,200万人が一回目、約830万人が二回目の接種を完了しています(*2)。医療従事者や福祉施設関係者にも接種を行っていますので、実際の接種数はこれより多くなります。

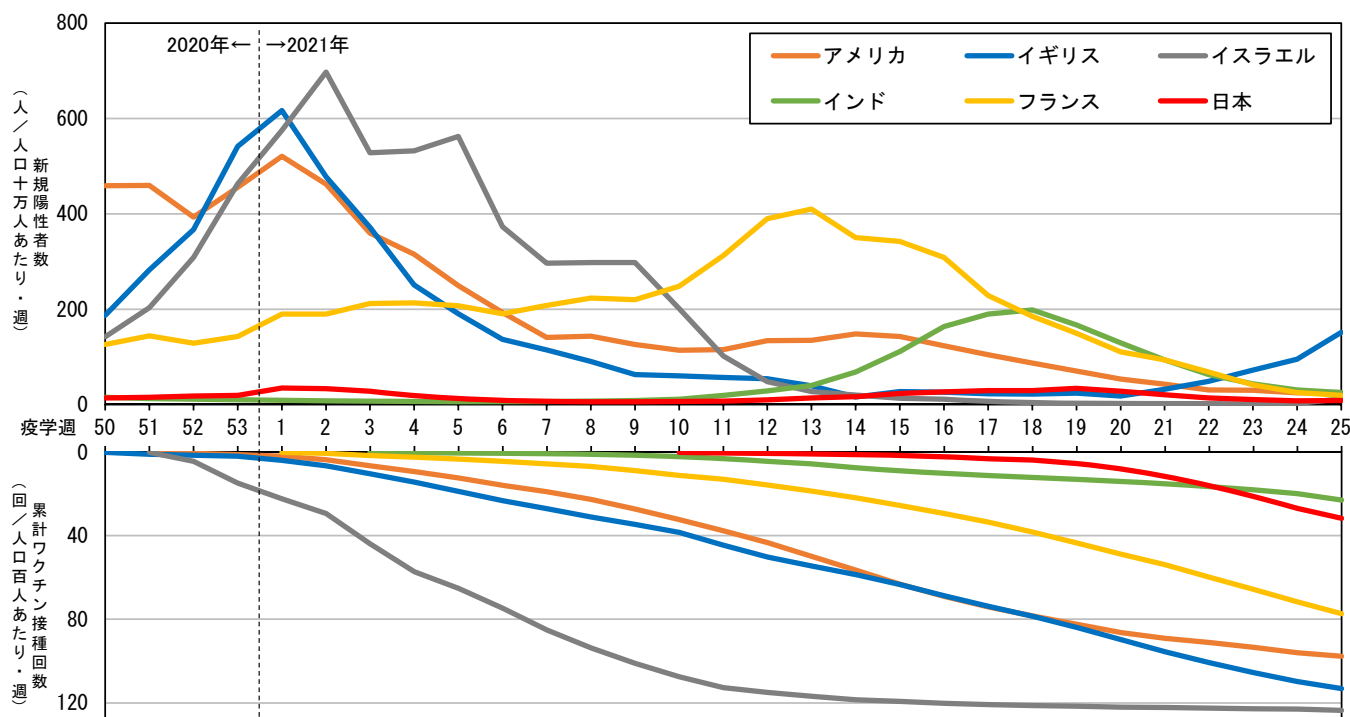
世界各国の新規陽性者数と累計ワクチン接種回数の推移をみると、早期に接種が進んだイスラエルでは、新規陽性者数が激減しています(図2)。また、中程度ワクチン接種が進んだアメリカやイギリスと比べて、あまり接種が進まなかったフランスやインドでは新規陽性者数が増加しています。しかし、イギリスと比較してアメリカの方が新規陽性者数は下げ止まったこと、イギリスで第24週以降に再度の感染拡大が起きていることなどを考慮すると、必ずしもワクチン接種状況だけが流行動向を左右するわけではないようです。ワクチン接種の有無にかかわらず、これまでどおり、こまめな手洗いやマスクの着用を続けていきましょう。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

図2. 世界のCOVID-19新規陽性者数と累計ワクチン接種回数の疫学週ごとの推移[§]

【参考文献】(以下、全て2021年6月29日閲覧。)

(*1) 京都市情報館「新型コロナウイルスワクチン接種について」

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000280084.html>)

(*2) 首相官邸ホームページ「新型コロナワクチンについて」

(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>)

(*) Our World in Dataのデータを基に作図した。

(<https://ourworldindata.org/explorers/coronavirus-data-explorer/>)

(§) 各自治体または厚生労働省のホームページのデータを基に作図した。

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000502869.html>

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/hokenyobo/health/kansen/cohs.html>

https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiihikoken/kekaku/covid19_hasseijoukyou.html

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>

<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/flkansen/2019n-covhassei.html>

https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/covid_19.html

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第25週

疾病,行政区別報告数

2021年6月21日～2021年6月27日

データ入手日:2021年6月30日

	インフル エンザ （※1）	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺炎	クラ ミ ジ ア 肺炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																		
北	-	4	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-					
左京	-	23	-	-	7	-	-	-	2	-	-	-	-					
中京	-	3	1	1	7	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	13	-	-	5	-	-	-	1	-	-							
山科	-	19	-	11	1	1	1	-	-	-	2	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	1	4	7	1	-	-	-	1	-							
右京	-	55	3	21	40	-	2	-	3	-	-	-	-					
伏見	-	22	-	3	52	-	-	-	6	-	-	-	-					
西京	-	7	1	2	14	2	-	-	2	-	-	-	-					
京都市計	-	146	6	42	140	4	4	-	16	3	2	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ （※1）	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プラ ズ マ 肺炎	クラ ミ ジ ア 肺炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																		
北	-	1.00	-	-	1.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	5.75	-	-	1.75	-	-	-	0.50	-	-	-	-					
中京	-	1.00	0.33	0.33	2.33	-	0.33	-	-	0.67	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	6.50	-	-	2.50	-	-	-	0.50	-	-							
山科	-	3.80	-	2.20	0.20	0.20	0.20	-	-	-	0.40	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	0.33	1.33	2.33	0.33	-	-	-	0.33	-							
右京	-	11.00	0.60	4.20	8.00	-	0.40	-	0.60	-	-	-	-					
伏見	-	3.14	-	0.43	7.43	-	-	-	0.86	-	-	-	-					
西京	-	1.40	0.20	0.40	2.80	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-					
京都市計	-	3.40	0.14	0.98	3.26	0.09	0.09	-	0.37	0.07	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第25週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年6月21日～2021年6月27日

データ入手日:2021年6月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上	65歳－	70歳以上				
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	146	9	14	44	44	22	11	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽 頭 結 膜 熱		6	－	－	5	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		42	－	1	10	6	4	9	2	4	1	－	1	1	－	3	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎		140	4	10	27	23	20	13	9	4	4	1	2	12	2	9	－	－	－	－	－	－
水 痘		4	－	1	－	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
手 足 口 病		4	－	－	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん		16	－	6	7	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ		3	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎		2	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ※(※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	3.40	0.21	0.33	1.02	1.02	0.51	0.26	0.05	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.14	－	－	0.12	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.98	－	0.02	0.23	0.14	0.09	0.21	0.05	0.09	0.02	－	0.02	0.02	－	0.07						
感染性胃腸炎		3.26	0.09	0.23	0.63	0.53	0.47	0.30	0.21	0.09	0.09	0.02	0.05	0.28	0.05	0.21						
水 痘		0.09	－	0.02	－	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.09	－	－	0.02	0.02	－	－	－	－	0.02	－	－	0.02	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.37	－	0.14	0.16	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.07	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－						
流行性耳下腺炎		0.05	－	－	－	－	0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第25週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年6月30日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		110	153	170	155	140	146
咽 頭 結 膜 熱		13	19	19	18	23	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		42	44	55	39	51	42
感染性胃腸炎		168	107	127	93	97	140
水 痘		9	5	6	4	3	4
手 足 口 病		4	3	1	11	4	4
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	1	－
突発性発しん		7	8	12	17	11	16
ヘルパンギーナ		3	3	2	2	2	3
流行性耳下腺炎		1	1	1	1	1	2
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	2	－	－	1	1
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		358	345	393	340	334	364

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		2.56	3.56	3.95	3.60	3.26	3.40
咽 頭 結 膜 熱		0.30	0.44	0.44	0.42	0.53	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.98	1.02	1.28	0.91	1.19	0.98
感染性胃腸炎		3.91	2.49	2.95	2.16	2.26	3.26
水 痘		0.21	0.12	0.14	0.09	0.07	0.09
手 足 口 病		0.09	0.07	0.02	0.26	0.09	0.09
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	0.02	－
突発性発しん		0.16	0.19	0.28	0.40	0.26	0.37
ヘルパンギーナ		0.07	0.07	0.05	0.05	0.05	0.07
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	0.20	－	－	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		8.40	8.18	9.14	7.91	7.84	8.54

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。